

六月定例議会

一般会計補正予算案など
五議案を可決



六月定例議会が、十八日(金)から二十五日(金)まで会期八日間にわたって開かれ、諮問一、五議案はいずれも原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

議案

諮問第一号
人権擁護委員の推せんにつき意見を求めることについて
●人権擁護委員 武田実氏が任期満了となるため、再び同氏を委員の候補者として、法務大臣に推せんするもの。
住所 黒埼町木場二〇五八 氏名 武田 実
大正四十二年十二月十六日生
議案第三十八号
固定資産評価員の選任について
●欠員中の固定資産評価員について、規定に基づき設置するもの。

請願・陳情

住所 黒埼町木場一八八四 氏名 大谷要治
大正十二年一月五日生
議案第三十九号
黒埼町職員の給与に関する条例の一部改正
●児童手当に係る所得制限の引き下げなどで、条例の一部改正が生じたもの。
請願第四号
黒埼町総合庁舎誘致に関するもの。



議案第四十号
黒埼町国民健康保険税条例の一部改正
●保険給付費などの増加にもない、国民健康保険税の算定方法について、改正の必要が生じたので、条例の一部を改正するもの。
議案第四十一号
五十七年度一般会計補正予算(第一回)
●町道の拡幅用地買収費二千二百万円などを含む、六千七百六十八万五千円を追加補正し、歳入、歳出予算の総額をそれぞれ二十九億三千九百九十八万五千円に。
議案第四十二号
五十七年度国民健康保険特別会計補正予算(第一回)
●歳入、歳出予算一千九百五十五万五千円を減額し、それぞれ七億八千四百三十一万五千円に。
請願第五号
町道認定並びに改良舗装に関する請願
通称 要太郎小路(木場) 延長 一〇〇メートル 幅員 四・四メートル 採 択
請願第六号
道路整備早期実現に関する請願
木場一七号線 延長 一四六メートル 幅員 四・四メートル 採 択
請願第七号
町道認定及び舗装整備に関する請願
木場小学校脇の道路(木場村中線から二号道路まで) 延長 一九八メートル 幅員 四・四メートル 採 択
請願第八号
町道認定並びに改良舗装整備に関する請願
通称 木場勝蔵小路(木場村仲線から湯端線まで) 延長 八一メートル 幅員 三・六メートル 採 択
請願第九号
町道認定及び道路整備に関する請願
通称 木場権之丈新治郎小路

一般質問

二十四日(水)の一般質問には、二名の議員が質問にたちました。その内容は次のとおりですが、二、三回にわたる質問、答弁とも一回に要約し、割愛したのもあります。また、いづれの質問、答弁とも要旨であることを承諾してください。

請願第十二号
町道認定及び改良整備に関する請願
通称 木場医者小路(木場村仲線から二号道路まで) 延長 九八メートル 幅員 二・七メートル 継続審査
請願第十一号
町道認定及び道路整備に関する請願
通称 砂原旧県道線(砂原一号線、県道黒埼西川線まで) 延長 一〇九メートル 幅員 四・四メートル 採 択
請願第十号
町道認定及び改良整備に関する請願
通称 砂原旧県道線(砂原一号線、県道黒埼西川線まで) 延長 一〇九メートル 幅員 四・四メートル 採 択
請願第九号
町道認定及び道路整備に関する請願
通称 黒埼町総合庁舎誘致に関する請願(金巻地区) 継続審査
請願第八号
町道認定及び道路整備に関する請願
通称 黒埼町総合庁舎誘致に関する請願(金巻地区) 継続審査
請願第七号
町道認定及び道路整備に関する請願
通称 黒埼町総合庁舎誘致に関する請願(金巻地区) 継続審査
請願第六号
町道認定及び道路整備に関する請願
通称 黒埼町総合庁舎誘致に関する請願(金巻地区) 継続審査
請願第五号
町道認定及び道路整備に関する請願
通称 黒埼町総合庁舎誘致に関する請願(金巻地区) 継続審査
請願第四号
黒埼町総合庁舎誘致に関するもの。

保育行政について

質問 黒埼町の保育料は年々値上りし、国の基準値より高くなっている。郡内各町村との保育料金の比較、算定基準、郡内動向、また今後の保育料のあり方について伺いたい。
答弁(福祉課長) (A議員)
どの数値は省(保育料は最低が郡内より高く、最高も高い方ではあるが、黒埼町の保育料は保育所とはいえ幼稚園的な面も

黒埼町総合計画「実施計画」の実施について

質問 ローリング方式とはいえ昭和五十六年から五十八年と五十七年から五十九年での実施計画に違いが多いがどういうことか。道路整備、都市下水道、図書館建設、鳥原保育所建設、ゴミ埋立地整理工事、庁舎用地整地工事はどうなっているのか。また、昭和五十九年度事業で大野小学校校舎増築及びプール建設事業を実施するのか。
答弁(企画調整課長) 実施計画は向こう三カ年のローリング方式であり、総合計画の一部で、ごく近年に行う予定の計画である。そして、町の財源の裏づけがあつて実施されるものである。国の赤字国債など、県とも財源は厳しく、町財政も厳しい状況である。
道路整備は路線数が多いので変更を生じた。下水道は思うように国庫補助金がつかない。図書館は篤志家の寄付、国庫補助があつたが、方法としては一応単独を考えている。保育所は次に建てるなら鳥原ということであったが、最近入所児が減っているのが当面落とした。ゴミ埋立地は逐次町財源で年度ごとに行う計画が、場合によっては国庫補助事業にもなりうるので変更した。庁舎用地整地費は用地が決まっておらず、決まった場合を考えて計上した。
答弁(町長) 実施計画は財源によって変わってしまう。大野小学校増築は予定どおり実施したい。(次ページに続く)